





## 国際規格の取得

千葉大学は、2005年1月に環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格ISO14001の認証を取得しました。 2013年には全国の大学で初めてエネルギーマネジメントシステムの国際規格ISO50001も取得しました。 エネルギーマネジメントが有効に定着したため、2019年12月からISO50001のみ自己宣言となりましたが、 その後も継続して国際規格に則った環境とエネルギーのマネジメントシステム(EMS)を運用しています。

## 「環境ISO学生委員会」の誕生

千葉大学ではEMSの構築と運用を学生主体で行う目的で 2003年10月に「環境ISO学生委員会」を発足させました。 当初は学生有志40名程度が参画し、教職員と協力しながら EMSのマニュアルづくり、基礎研修や内部監査の実施、省エネ活動などを行い、ISO14001の取得に貢献しました。 それ以来20年以上にわたり、EMS運用の中核業務のほか、 学内外における様々な省エネ・省資源活動、 環境意識啓発の取り組みを行っています。



初代学生委員会メンバー

## 独自の仕組み「千葉大学方式」

千葉大学は「環境ISO学生委員会」を 大学のEMS組織内に位置付け、公的な立場で EMSの運用業務を行えるようにしました。 また、教職員と協力して学内において 様々な省エネ・省資源活動、環境意識啓発の 取り組みを行っているほか、

NPO法人格を取得して学外での活動も積極的に 行っています。

さらに、学生委員会の活動に単位と資格を与える 制度があります。こうした仕組みを 「千葉大学方式」と呼んでいます。



環境・エネルギーマネジメント組織体制

#### 資格認定制度 「千葉大学環境エネルギーマネジメント実務士」

これは千葉大学での業務経験を通してEMSに関する専門的な知識を持った学生であることを外部に対して示す学内資格です。 実習 II の受講後も継続して、学生委員会の役職に就いて活動した 3年生に対して、学長から与えられます。

2023年度は59名を認定し、

学生委員会発足以来729名の学生が取得しています。



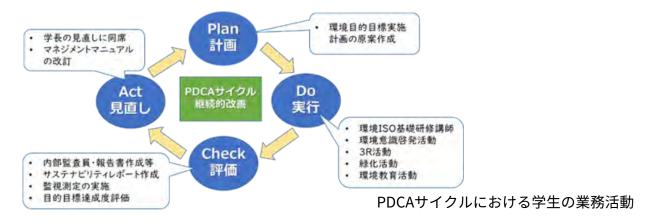
記念撮影の様子

## PDCAサイクルと学生委員会の関わり

EMSでは自ら立てた目標の達成に向けてPDCAサイクル(計画(Plan)・実行(Do)・点検(Check)

・見直し(Act))を繰り返し、環境保全・エネルギー効率改善に配慮した組織運営と 継続的な改善を進めます。

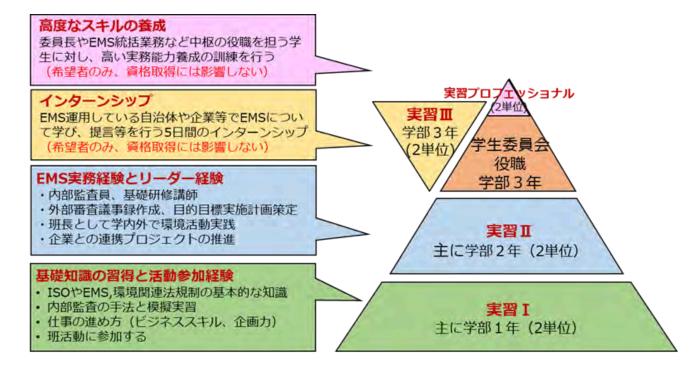
千葉大学では環境ISO学生委員会がPDCAの各段階に関わる主体となってEMSを運用しています。



## 単位化の仕組み「環境マネジメントシステム実習」

学生委員会の活動は、普遍教育科目(一般教養科目)「環境マネジメントシステム実習」として 単位化されており、座学・実務を通してEMSの専門知識やマネジメントの進め方を 身につける場を提供しています。

この仕組みにより、実務的な能力を持った人材の育成及び学生委員の確保と 学生主体のEMSの持続的な運用が可能となっています。



## 現在も毎年 200 人以上が活躍

環境ISO学生委員会は、「西千葉・亥鼻地区」、「松戸・柏の葉地区」の2地区に分かれて 活動をしており、合わせて約250名が様々な活動を展開しています。

#### 第21代 西千葉・亥鼻地区委員長 佐々木七菜 (理学部3年)



委員会の活動の中でこれまで企業様とやりとりしたり、

子ども向けのワークショップを行ったりと、

普段の大学生活では経験できないことができました。

準備期間が短かったり天候に左右されたりと大変なこともありましたが、

皆と協力して成功させることができたのが一番の思い出です。

また、活動を通じて他学部・他学科の友達もできて、一緒に楽しく活動できました。

#### 第19代 松戸・柏の葉地区委員長 福嶋海咲(園芸学部3年)



例年6つのテーマに班を分けて運営していましたが、

テーマを横断する企画や大規模な企画が実現しにくい課題がありました。

今年度は"皆で作りあげる"を目標に班を組み替え、

互いに交流を深めながら活動を展開しました。

また、資料作成技術の向上にも力を入れ、

持続的に発展し続ける委員会を目指して活動できました。

 $oldsymbol{6}$ 

## イ葉大学の環境マネジメントに関する 外部評価・表彰等

千葉大学における学生主体のEMSや環境ISO学生委員会の活動は、 これまでに国内・海外から高く評価されてきました。

	受賞・表彰名称	賞の主催	受賞対象	
2004	千葉大学課外活動賞	千葉大学	千葉大学環境ISO学生委員会	
2007	第6回日本環境経営大賞 環境経営部門:環境経営優秀賞	日本環境経営大賞表彰委員会三重県	千葉大学 (環境マネジメントの仕組み)	
	第11回環境報告書賞・サスティナビリティ報告書賞 環境報告書賞:公共部門賞	東洋経済新報社 グリーンリポーティングフォーラム	環境報告書2007	
	第11回環境コミュニケーション賞 環境報告書部門:環境配慮促進法特定事業者賞	環境省 財団法人地球・人間環境フォーラム	環境報告書2007	
	千葉市ごみ減量・再資源化優良事業者	千葉市	西千葉キャンパス	
2008	環境goo大賞 行政機関・独立行政法人・国立大学法人部門 奨励賞	NTTレゾナント(株)	千葉大学ホームページ	
	第12回環境報告書賞・サスティナビリティ報告書賞 環境報告書賞:公共部門賞	東洋経済新報社 グリーンリポーティングフォーラム	環境報告書2008	
	平成20年度 千葉県循環型社会形成推進功労者	千葉県	千葉大学環境ISO学生委員会	
2010	第9回日本環境経営大賞 環境経営部門:最優秀賞 環境経営パール大賞	日本環境経営大賞表彰委員会 三重県	千葉大学環境ISO学生委員会事務局 (千葉大学方式)	
2011	第15回環境報告書賞・サスティナビリティ報告書賞 環境報告書賞:公共部門賞	東洋経済新報社 グリーンリポーティングフォーラム	環境報告書2011	
	ワットセンス・アワード2012 エコリーグ賞:長期活動部門賞	ワットセンス・プロジェクト 総合運営事務局	千葉大学環境ISO学生委員会	
2014	国立大学法人等の平成25年度評価結果 特筆される取り組み	文部科学省 国立大学法人評価委員会	大学初ISO50001取得の取り組み	
2015	第1回サステイナブルキャンパス賞 学生活動・地域連携部門	サステイナブルキャンパス 推進協議会	千葉大学環境ISO学生委員会	
	第25回地球環境大賞 文部科学大臣賞	フジサンケイグループ	NPO法人 千葉大学環境ISO学生委員会	
	第19回環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門:環境配慮促進法特定事業者賞	環境省 財団法人地球・人間環境フォーラム	環境報告書2015	
	低炭素杯2016 ユニ・チャーム最優秀賞:エコチャーミング賞	低炭素杯実行委員会	千葉大学環境ISO学生委員会	
	サスティナブルキャンパス評価システム(ASSC) ゴールド認定	サステイナブルキャンパス 推進協議会	千葉大学	

	受賞・表彰名称	賞の主催	受賞対象
2017	平成29年度 千葉市を美しくする運動推進功労者表彰	千葉市を美しくする会	千葉大学環境ISO学生委員会
	Sustainable Campus Excellence Awards 2017 Student Leadership部門	ISCN (The International Sustainable Campus Network)	千葉大学環境ISO学生委員会
	第3回サステイナブルキャンパス賞 学生活動・地域連携部門	サステイナブルキャンパス 推進協議会	千葉大学環境ISO学生委員会
	平成29年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰 対策活動実践・普及部門	環境省	千葉大学環境ISO学生委員会
	低炭素杯2018優良賞	低炭素杯実行委員会	千葉大学環境ISO学生委員会
	第21回環境コミュニケーション大賞 優良賞	環境省 財団法人地球・人間環境フォーラム	環境報告書2017
	第35回千葉市教育・文化・スポーツ等 功労者褒賞	千葉市	千葉大学環境ISO学生委員会
	2017 GUPES Green Gown Awards	国際連合環境計画(UNE) 大学環境協会(EAUC)	千葉大学 (学生主体のEMS)
2018	International Green Gown Awards 2017-2018 Student Engagement部門賞	EAUC (The Environmental Association for Universities and Colleges)	千葉大学 (学生主体のEMS)
	第22回環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門:環境配慮促進法特定事業者賞	環境省 財団法人地球・人間環境フォーラム	環境報告書2018
2019	ASCN2019年次大会 Best Student Activity Award	ASCN (Asian Sustainable Campus Network)	千葉大学環境ISO学生委員会
	International Green Gown Awards 2019 Student Engagement部門 奨励賞	EAUC (The Environmental Association for Universities and Colleges)	千葉大学環境ISO学生委員会
	第23回環境コミュニケーション大賞 環境報告書部門:環境配慮促進法特定事業者賞	環境省 財団法人地球・人間環境フォーラム	サスティナビリティレポート2019
	サステイナブルキャンパス評価システム(ASSC) ゴールド認定	サステイナブルキャンパス 推進協議会	千葉大学
2021	第7回サステイナブルキャンパス賞 学生活動部門	サステイナブルキャンパス 推進協議会	千葉大学環境ISO学生委員会
2022	ASCN2022年次大会 優秀賞:EXCELLENT AWARD	ASCN (Asian Sustainable Campus Network)	千葉大学環境ISO学生委員会
2023	ASCN2023年次大会 質の高い教育賞	ASCN (Asian Sustainable Campus Network)	千葉大学環境ISO学生委員会
	第9回サステイナブルキャンパス賞 学生活動部門	サステイナブルキャンパス 推進協議会	千葉大学環境ISO学生委員会
2024	International Green Gown Awards 2024 Student Engagement部門 ファイナリスト	EAUC (The Environmental Association for Universities and Colleges)	千葉大学

# 特集20年の歴史



### スタートアップ期 ~認証取得と土台作り

2003

設立総会(10月10日)

環境ISOキックオフ宣言(10月27日)

シンボルロゴマーク募集、「いそちゃん誕生」

EMSマニュアル等作成、EMS運用開始準備

2004

「環境マネジメントシステム実習 Ⅰ・Ⅱ」スタート

初の環境目的目標実施計画の策定、基礎研修の実施、

内部監査の実施、外部審査の受審

落ち葉・生ゴミの堆肥化スタート

附属学校へのチューター活動・クリーンデー開始

「千葉大学課外活動賞」を受賞

2005

■ 西千葉キャンパス ISO | 400 | 認証取得(1月27日)

環境報告書を初発行(3月)

松戸・柏の葉地区学生委員会発足

【 松戸・柏の葉キャンパス ISO | 400 | 認証取得(12月) 「千葉大学環境マネジメント実務士」の資格認定スタート

省エネイベントスタート

大学祭の環境対策スタート

レジ袋の有料化開始、レジぶー基金設立(実証実験は2005年7月)

落ち葉堆肥「けやきの子」頒布スタート

2007

■ 亥鼻キャンパス ISO | 400 | 認証取得(I用)

亥鼻地区学生委員会発足(2013年から西千葉地区に合流)

ミックス古紙回収スタート(試験回収は2006年度)

全国環境ISO学生大会(現:環境マネジメント全国学生大会)を千葉商科大学と共催

中古自転車回収・譲渡イベントスタート

「環境マネジメントシステム実習Ⅲ」スタート

第6回 日本環境経営大賞 ■ 環境経営部門:環境経営優秀賞

第11回 環境報告書賞・サステイナビリティ △ 報告書賞 環境報告書賞:公共部門賞

第11回環境コミュニケーション大賞

このころでした。

古本市スタート

「国際化担当班」を新設。英語パンフ・基礎研修などを開始

平成20年度 千葉県循環型 社会形成推進功労者賞

第12回 環境コミュニケーション大賞 🚨 環境報告書部門 環境配慮促進法特定事業者賞



発足時、10日間だけの募集期間でしたが、40名もの 有志が集まりました。2004年度には新入生を迎え、 100名を超える組織になりました。

千葉大生対象にロゴ募集をして、応募作品を学内に 掲示して投票を募り、2つのマークに決まりました。 Web投票なんてない時代ならではのアナログ感…







環境ISO事務局

2004年に環境配慮促進法が制定され、翌年から 環境報告書の作成が義務付けされましたが、千葉 大は1年先駆けて発行し、しかも学生が編集して作 成されました。

最初の省エネイベントでは、うちわ5000枚を手配り しました。当日の実習」で著名人を招いたシンポジウ ムを行っていた年もあり、ルー大柴さんをお呼びした こともありました。

> スタートアップ期は、各キャンパスに ISO14001の適用範囲を拡大させると ともに、実習I~IIと資格認定制度が整 い、環境報告書の発行も始まり、千葉大 学のEMSが定着し、「千葉大学方式」の 骨格が形成された5年間でした。 また、班活動としては、堆肥化、省エネイ ベント、レジぶー企画、自転車、古本市な ど、現在も続く主要な企画がはじまった 時期でもありました。 世の中に千葉大学の学生主体のEMS が徐々に知られ、表彰を受け始めたのも

➡ 環境報告書部門 環境配慮促進法特定事業者賞



## ステップアップ期 ~10年を経て新たなステップへ ※実施企画は書ききれないので、特徴的なもので 現在も継続している企画や複数年続いた企画のスタート年のみ記載

左:節電ポスター 右:節電うちわ

学生委員会として、亥鼻のISO取得後に目標を見失わな いように、NPO法人化に向けて取り組みました。

これにより、大学の組織としての委員会と、NPO法人として の委員会の両方の顔を持った組織となりました。

震災直後の3月14日(!!)から活動を開始し、構内の

様々な場所に節電ポスターを掲示するとともに、大学周

辺のお店に、ポスター掲示と節電へのご協力をお願いし

て回りました。6月のイベントではうちわを1万本配布して 節電を呼びかけました。震災三日後から動き出したとは、

馬上丈司法経学部特任講師(当時)と学生委員会メン

創立日の10月10日の昼休みに学内で記念イベント

も開催しました。10月12日に「これまでの活動の振り

返りと新たな10年に向けて」をテーマにシンポジウム

バー数名で立ち上げたベンチャー企業です。 今や、ソーラーシェアリングの第一人者となった、千葉大

が誇る卒業生の企業です。

ISO50001の取得は全国の大学で初め

てて、唯一のことでした。エネルギーマネ

ジメントが定着したこともあり、2019年度

が開催されました。

に自己宣言に移行しました。

当時の学生たちと倉阪先生の熱意を感じます。

2009

NPO法人格取得(4月)

環境報告書の第三者意見執筆活動スタート

エコプロダクツ(現:エコプロ)に初出展

戸定みんなの庭スタート

緑のカーテンづくりスタート

2010 ヤングフェスティバル参加(~2016)

> 9 第9回 日本環境経営大賞 △ 環境経営部門:最優秀賞 環境経営パール大賞

2011 東日本大震災

節電ポスタープロジェクト、節電イベント

自転車でつなぐ復興支援プロジェクト

被災地支援活動開始(コミュニティガーデン、商店街緑化活動)

太陽光発電によるイルミネーション企画スタート

エアコンフィルター清掃企画スタート

第11回 環境報告書賞・サステイナビリティ ワットセンス・アワード2012 ロ 報告書賞 環境報告書賞:公共部門賞 エコ・リーグ賞 長期活動部門賞

2012 「地球温暖化問題 千葉大学行動計画学生原案」を作成

「地球温暖化対策緊急会議in千葉大学」開催

千葉エコ・エネルギー株式会社設立

第6回全国環境ISO学生大会を主催

シェアサイクルCOGOO導入 2013

古本市、有料販売開始

ちーあいふれあいの庭スタート

【 環境ISO学生委員会 I O周年記念行事

**■ 主要4キャンパスでISO5000 | の認証取得(12月)** 

2014 CAS-Net JAPAN発足・初期会員として設立総会に出席

初代委員長が環境ISO事務局員となる(2017年から教員に)

文部科学省国立大学法人評価委員会「国立大学法人等の平成25 年度評価結果」

□ 「特筆される取り組み」として、千葉大学のISO5000 | 取得の取り組みが紹介される。

10周年シンポジウムでの「私の後継がいないことが課題」 という倉阪先生の言葉をきっかけに、初代委員長の岡山咲 子さんがリクルートから転職してきました。千葉大の教員に なるべく博士課程にも入学。リクルート仕込みの視点と広 報PRスキルを活かして、学生委員会を改革していきました。

研究室のフィルター清掃は、「教職員がやるべきことを代わ

りに学生がやってあげてるんだから、対価をもらうべきだ」と

いうことで有料化し、現在は1台700円で請け負っています。

CAS-Net JAPAN年次大会を千葉大学で開催 2015

三菱製紙紙販売株式会社(現:三菱王子紙販売株式会社)との協同プロジェクト開始 企業連携プロジェクトのはじまりです

本腰を入れて表彰制度に 応募したところ、多くの章

を受賞しました。

「育てて緑化、フラワープランター」企画スタート

震災(放射線問題)の影響で頒布を自粛していましたが、 検査を経て再開しました。

落ち葉堆肥「けやきの子」頒布再開

エアコンフィルター清掃、有料化開始

「Ist Asian Conference on Campus Sustainability」に参加

第1回 サステイナブルキャンパス賞 第19回 環境コミュニケーション大賞 第25回 地球環境 学生活動・地域連携部門 環境報告書部門 環境配慮促進法特定事業者賞 ☆ 文部科学大臣賞

第25回 地球環境大賞

学生委員会の海外

進出のはじまりです

























## ジャンプアップ期 ~企業・自治体との連携、海外進出が本格化

2016 第10回全国環境ISO学生大会の開催

国際会議参加(以後毎年参加)、韓国やイギリスの視察団受入れ

千葉市地球温暖化対策地域協議会 次世代分科会スタート

低炭素杯2016

ユニ・チャーム最優秀賞エコチャーミング賞

2017 【「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」スタート

いそちゃんだより発行スタート

🤋 Sustainable Campus Excellence Awards 🖐 平成29年度 地球温暖化 🖐 第3回 サステイナブルキャンパス賞🖐 平成29年度 千葉市を美しく □ 防止活動環境大臣表彰 □ 学生活動·地域連携部門 📤 2017 Student Leadership部門

ゼンのためカナダまで行きました。

学生委員会史上最大の進化!

このプロジェクトの推進が学生

初めて国際的な賞を受賞。プレ

委員会の発展に繋がっています。



2018 【 Chiba Winter Fesスタート

> 入学式で新入生にエコグッズをプレゼントする企画スタート エコアクション21取得の企業コンサルティング事業スタート

対策活動実践·普及部門

として、さまざまな企画を行っています。

環境意識の啓発を目的としたイベント。企業の ご協賛を頂き、企画も運営も学生が行います。

以降、毎年度の学生委員会の集大成イベント

学生の発案、実証実験の実施、結果分析、大 学への提案を経て、正式に導入されました。

紙ストローで実証実験後、2021年に竹ス

トローで再度実験し、最終的に1本5円で 米ストローを有料導入することに成功

全国の大学の学生団体の連携を強めるべく

設立。学生委員会は事務局を務めています。

2019 環境ISO学生委員会15周年記念シンポジウム(2月11日)

環境報告書をサステナビリティレポートに変更

西千葉キャンパス内の弥生通りで歩者分離スタート プラスチックストロー使用量削減プロジェクトスタート

環境マネジメント全国学生協議会設立

International Green Gown Awards 2019 

ASCN2019年次大会 Best Student Activity Award

対而活動が制限され、中止した企画も多々ありましたが、

コロナ禍は委員会全体の人数が300人を超えました。

ファッションとサステナビリティをテーマに、環境、ダイバー

次々生まれた年でした。

シティ、文化、人権のグループで活動中

学生の熱意から、フェアトレード、防災、フレイル予

防、LGBTQ+など環境以外のSDGs貢献企画が

2020 新型コロナウイルス感染症拡大 新入生170人加入

地域の飲食店応援マップ企画スタート

202 I LKKプロジェクト 守ろうウィーク企画

コンタクトレンズ空ケース、ミンティア・キャップ回収企画スタート

第23回 環境コミュニケーション大賞 🏯 環境報告書部門 環境配慮促進法特定事業者賞 🚨 学生活動部門

第7回 サステイナブルキャンパス賞

2022 【多数の企業とのプロジェクト開始・SDGs活動も活性化

株式会社ZOZOとの協同プロジェクトスタート

エプソン販売株式会社との協同プロジェクトスタート

株式会社スリーエーコンサルティングとの協同プロジェクト

そごう千葉店、千葉テレビ放送株式会社との「みんなでSDGs~食農体験プログラム~」

株式会社パソナグループとの協同プロジェクト

東京新聞で毎月記事連載・本社ロビー展示企画

墨田区との連携活動スタート

【タイ・チェンマイ大学へのSDGs留学プログラムスタート

エコアクション21の取得コンサルで初の認証・登録

第9回 サステイナブルキャンパス賞 📤 学生活動部門

MSCN2023年次大会 質の高い教育賞

11代目の委員長が繋ぎとなって実現しました

2021年に墨田サテライトキャンパスができたことから、 墨田区での活動の機会も増えました。

コロナ前に企画していて泣く泣く中止したプログラムが 3年越しに実現し、10名の学生委員が留学しました。



## EMS運用業務

#### サステナビリティレポート編集部

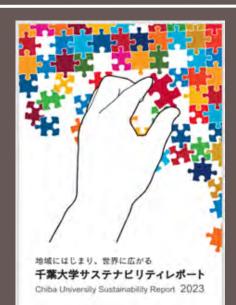
千葉大学は環境配慮促進法に基づき、毎年「環境報告書」の 作成が義務付けられています。千葉大学では2004年からこの編集を 環境ISO学生委員会が担っています。

2019年からはSDGsの社会的な側面の取り組みも掲載し、「サステナビリティレポート」と名称を変更しました。 学生が編集長と副編集長を務め、レポートの構成から執筆、 執筆依頼、そして校正を学生で分担して行っています。

環境や社会に貢献する取り組みや研究を紹介するとともに、 環境目的目標に対する達成度評価を行います。 学長や部局長をはじめ、様々な方にインタビュー取材を行ったり、

「サステナビリティレポート」では、千葉大学で行われている

学長や部局長をはじめ、様々な方にインタビュー取材を行ったり、サークル・団体の紹介を行ったり、環境に関する情報から 記事を執筆したり、多岐にわたります。



2024年度は、読みやすさを重視して、サステナビリティレポートのページ数を半減させ、 その代わりに「環境ISO学生委員会報告書(本報告書)」を新たに作成しました。

「サステナビリティレポート」「環境ISO学生委員会報告書」はこちらを参照 https://www.chiba-u.ac.jp/about/approach/environment/

編集担当:大石玲奈(園芸学部3年)

#### 外部審查

ISO14001の外部審査では、毎年、11月末〜12月上旬ごろに、 外部の審査機関から審査員を招いて、国際規格ISO14001の 認証を継続または更新するに値するかどうか、

千葉大学を審査します。

審査には2、3年生の学生委員も同行し、審査内容について ボイスレコーダーやカメラも利用して記録を残し、議事録を 作成します。

外部審査統括は、審査に必要な書類を収集するほか、

審査の議事録作成のシフトを作ります。

内部監査同様に、学生は普段自分が通っていないキャンパスに行くこともありますが、 それが逆に新鮮な経験になっていることもあります。

編集担当:武田彩花(工学部4年)



### 内部監査

内部監査は、環境計画が実施されているかどうかを 点検する手続きで、環境・エネルギーマネジメント システムのPDCAのCにあたります。

質の確保された内部監査が適切に実施されていることが、 ISO14001の認証審査をクリアするための鍵となります。

内部監査では、大きく2つの事項を確認します。

第一に、「千葉大学環境・エネルギーマネジメント

マニュアル」で定められていることと、各キャンパスの「環境目的・目標・実施計画」で 定められていることを実行しているかどうかを確認します。

第二に、「関係する環境関係の法規制等を順守しているかどうか」を確認します。

これらの監査ができるように、学生委員会は授業の中で内部監査の知識と技法を学ぶほか、 直前にも研修を受けています。

千葉大学では毎年9月末の3日間で行われ、学生委員会のメンバーと教職員がチームを組んで 監査員を務め、100以上の研究室などを回って監査を行います。

学生委員会の内部監査統括は、内部監査計画書の作成、実施するユニットの選定、 第一判定作業、学生監査員のシフト作成などの事前準備、内部監査当日の運営、 そして、内部監査の報告書作成を行っています。

編集担当:粟屋日菜(理学部3年)

### 環境ISO基礎研修

基礎研修とは、毎年4月に全教職員、全学生、

構内事業者職員の方々を対象に、

千葉大学の環境マネジメントシステムに関する基礎知識や学内において協力していただく環境活動について説明する5~10分程度の研修です。



千葉大学は11学部・17大学院があり、学生数は約14,000人、 教職員数は約3,500人です。

学生向けの研修は、学部・学科・学年別に開催されるガイダンスに合わせて実施するため、 研修の回数は150回を超えます。

研修では環境ISO学生委員会の学生が2人1組で講師となり、千葉大学の環境・エネルギー方針とそれに基づく活動、ISO14001の取得状況と効果、エネルギー・ごみ分別・化学物質などに対する適切な対応の説明を行います。

学生委員会の基礎研修統括の学生は、研修で使用するパンフレットを作成したり、

講師の原稿を作成したり、講師のシフトを作成したり、環境意識アンケートを作成したりします。 また、教職員向けの研修は動画配信で行われるため、その動画の作成も行います。

さらに、環境ISO学生委員会の国際化担当班がパンフレットや動画の英語版を作ります。

編集担当:越山直輝(法政経学部3年)

## 西千葉・亥鼻地区の班活動

#### 構内環境班

自転車回収・譲渡イベントの実施

下宿して千葉大学に通う学生などが、卒業とともに不要になった自転車を学内に放置する 問題の解決策として、中古自転車の回収と譲渡活動を行っています。

3月に卒業生等から不要になった自転車を回収し、専門業者に修理していただきます。 その後、新入生や留学生など新たに自転車が必要となった人へ、ほぼ修理費用のみの 格安価格で販売しています。

使用済みコンタクトレンズケース回収

使用済みのコンタクトケースが無駄に捨てられていることに着目し、

コンタクトレンズのメーカーであるアイシティのecoプロジェクトに参加する形で 2021年から始まった活動です。

現在はライフセンターに回収ボックスを設置し継続的な回収を行っています。

#### 構内巡り

毎年秋ごろ構内巡りというイベントを実施しています。

西千葉キャンパス内を巡回しゴミや自転車の放置など環境負荷となる問題点がないか 確認する活動です。同時にゴミの回収を行うことで景観維持に努めています。

編集担当:武田和(工学部2年)

### 学内教育班

エアコンフィルター清掃で省エネ推進

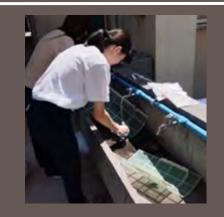
学内のエネルギー効率の改善を目的として毎年

エアコンフィルター清掃を行っています。

自主的な清掃が難しい研究室に対して学生委員会が有料で請け負い、 エアコンの効率的な運用を目指しています。

毎年、亥鼻と西千葉で合計100台近くのエアコンフィルターの清掃を行っています。

編集担当:北澤結衣(法政経学部2年)



## 国際化担当班

学生委員会の活動に関係する広報物に関して、 主に配信するメールの英訳を行っています。

各班から、班長が英訳依頼を受け、分割して班員に周知して 各々が英訳し、班長が集約してEnglish houseで添削を受け 完成させます。

編集担当:宮前良亮(園芸学部2年)



#### 堆肥化班

キャンパス内のけやきの落ち葉と生協食堂で出た 生ゴミを用いた堆肥作りを行っています。

落ち葉と乾燥させた生ゴミに土をかぶせ、水を与え、 一定時期間経ったら土を切り返して空気の入れ換えを 行うといった方法です。

毎年2月頃には完成した堆肥を地元の方々に向けて 販売し、ありがたいことに多くの方々に購入して いただいています。

編集担当:冨永海翔(工学部2年)



#### 構内事業者班

レジぶー企画、COGOOお掃除企画、レジ袋削減企画、サステナビリティレポート掲載記事の ためのインタビュー・執筆の、主に4つの活動を行っています。

(レジぶー企画とCOGOOお掃除企画についてはtopic参考)

#### レジ袋削減企画

千葉大学生協におけるレジ袋の使用量削減を目標とし、生協様と連携しながら企画に 取り組んでいます。

レジ袋削減の手段についての班会議や、学生や教職員を対象とした、レジ袋廃止に対する考えを 知るためのアンケート作成を行いました。

#### 記事執筆

サステナビリティレポートに掲載する構内事業者インタビューの記事のために、

構内事業者班が事業者様を取材して、記事を執筆しました。

編集担当:出口小晴(国際教養学部2年)

## エネルギー班

#### 学生による省エネ啓発活動

環境ISO学生委員会では、省エネ啓発を目的とした活動を行っています。 7月の省エネイベントではクイズや自転車発電、

うちわの配布やパネル展示を通して省エネを呼びかけます。

また、SNSでの発信や学生から募集したポスターの掲示によって

夏にはクールビズ、冬にはウォームビズを促しています。

そのほか、日頃から省エネ・省資源の意識を持ってもらうために 学内施設の各所に節電や節水を呼び掛けるステッカーを張ることで、 省エネ啓発を行っています。

編集担当:小原信人(法政経学部2年)



### 地域交流班

大学近くの花壇整備や地域イベントへの参加、地域情報マップの作成などを行っています。 住民の方々や他団体と連携し、地域とのつながりを深める活動をします。

#### アガパンサス整備(通年)

毎月第3土曜日に、NPO法人Dropsさんや地域の方々と一緒に学園通りにある花壇の整備 や周辺のゴミ拾いをしています。

#### 稲毛区民まつりへのブース出展

毎年秋に開催される稲毛区民まつりにブース参加し、子ども向け企画と学生委員会の 活動紹介を行っています。

#### 地域情報マップ作成・配布

西千葉の魅力を学生や地域の方々に知っていただくために地域情報マップを作成します。

#### 他団体との合同企画

2023年度は学生団体おりがみさんと合同で、学生と地域住民の交流を深めるために 西千葉のZOZO広場でイベントを行いました。

#### 防災企画

地域の防災イベントに赴き、地域として取り組むべき防災を学び、 学生と地域の方をターゲットとしたパンフレットを作成しました。

編集担当:横谷和希(法政経学部2年)、小藤那奈子(文学部3年)

### 学内教育班

#### 育てて緑化フラワープランター

キャンパス内の景観の向上を目的に毎年秋に希望する部局に対して、 花を育てるのに必要なものを一式貸し出し、教職員が建物の入口などの 見えやすい場所にプランターを置いて育てるものです。

2023年度は図書館や学部棟など学内の幅広い部局にパンジー 258株を配布しました。パンジーは秋から春にかけて長い期間花を咲かせ、学内の景観向上に貢献しました。

#### 緑のカーテンの作成

緑のカーテンとは、建物の窓の外に、つる性の植物をネット等に 生い茂らせてカーテンのようにするもので、夏には内側の温度上昇の 低下に役立ち、省エネに貢献します。

緑のカーテンを作製するためには水やりや雑草の除去等、継続的な管理が必要です。 2023年度は緑のカーテンとしてゴーヤとシカクマメを植えました。 秋には実った果実の収穫も行いました。

編集担当:橋上咲季(文学部2年)



### 学外教育班

東京ソラマチでの子ども向けワークショップ

5月に東京ソラマチ5階にある「ちきゅうのにわ」の

ワークショップスペースで、未就学児から小学校低学年生の親子を 対象としたワークショップを行いました。

ゴミ削減や再利用の取り組みを知ってもらうことを目的に、

こどもの日を意識したビニール袋や牛乳パックを利用した

こいのぼり作りを行いました。

子どもたちだけでなく、保護者の方にもこいのぼり作り体験に 参加していただきました。

編集担当:高島彩希(教育学部2年)



## 紙班

紙班では古本市、古紙回収量調査、製品開発企画を行っています。

古本市は本のリユースを推進し、古紙回収量調査は用紙類の使用量を 削減・再利用することを促進する活動です。

製品開発活動は外部の方と連携し、ペットボトルキャップの

アップサイクル活動を通して社会全体の廃棄物抑制に資することを

目的としています。

編集担当:深田尚杜(法政経学部2年)



## 学外緑化班

学外緑化班は、敬愛大学のボランティアサークル ちばくりん敬愛支部と共同でコミュニティガーデン 「ちーあいふれあいの庭」を運営しています。

千葉市の「花いっぱい市民活動」の花苗の助成を 活用して、毎年春と秋に、花植えイベントを実施し、 地域の方々と一緒に季節の花を植えています。

さらに、私たちは日々の花壇の維持や管理にも力を注いでいます。

花壇の肥料には、堆肥化が作製した落ち葉堆肥「けやきの子」を使用します。

この肥料は、独自の配合で環境にやさしい成分が含まれており、花々の成長をサポートします。 学外緑化班は、年間を通じて定期的に花壇の整備を続けています。

その結果、散歩中の方が声をかけてくださることもあり、地域の方々の目に留まる 花壇になっていることを実感しています。

私たちは地域の皆様と協力し合いながら、美しい庭園を育てる喜びを共有しています。

編集担当:池田真唯子(園芸学部2年)

#### 企画班

企画班では委員会内の交流のために、合宿やBBQ、 新歓といったイベントを企画・運営しています。 また、11月には大学祭で出店を行い、 委員会の活動内容を広く知ってもらうことを 目指しています。

先輩後輩の繋がりを深め、委員会活動をスムーズに 運営することができるよう、イベントの企画に 力を入れています。

編集担当:蛭田愛海(法政経学部2年)



### 附属教育班

附属教育班は、千葉大学教育学部附属幼稚園、附属小学校、 附属中学校の園児、児童、生徒に向けた環境教育や児童生徒との 環境活動を行っています。

環境教育、環境活動のイベントの企画を班員で行い、 各附属学校と調整して実際に行います。

また、環境意識の啓発を目的とした「環境だより」配付を 年2回行っており、多くの児童生徒に興味を持って読んでもらえるように 低学年向けと高学年向けの2種類を作成しています。

編集担当:細川結愛(園芸学部2年)



### IT·広報班

IT・広報班は、環境ISO学生委員会の「広報」を担う班として 活動しています。

具体的には、地域の皆様へ学生委員会の活動をお知らせする「いそちゃんだより」の作成、主に千葉大生に向けた広報を行う「X(@chibaiso)・Instagram(@chibaiso\_)の管理」、

さらには学生委員会からのお知らせや細かい活動内容を掲載する Webサイトの管理を行っています。

編集担当:林大輔(理学部2年)



### 亥鼻班

亥鼻班は、主に亥鼻キャンパスで活動している班です。 夏に「省エネイベント」の実施や、

使わなくなった自転車を回収して格安で販売する

「自転車回収・譲渡イベント」、キャンパス内を歩いて 危険な場所が無いか見回る「亥鼻巡り」といった活動を 行っています。また、12月には市民を対象とした 「花の寄せ植えイベント」を行っています。

編集担当:佐々木七菜(理学部3年)



### ゴミ班

ごみ班では主に、2つの活動を行っています。

1つ目は、11月に行われる千葉大祭でのミニゲーム企画です。 これは、環境や省エネ、ごみの分別について、子供から大人まで、 楽しみながら学べる企画になっています。

2つ目は、ごみ分別調査です。

この活動では、紙利用アンケートを行ったり、

プリンター使用記録のデータをまとめたりしています。

編集担当:村杉奏音(法政経学部2年)



## T O P C 西千葉地区の構内事業者班

#### レジぶー企画

レジぶー企画とは、レジ袋の有料化によって得られた「レジぶー基金」を 資金としてエコ啓発商品の開発を行う企画です。

班内で製品案の募集・検討を行い、企画委員会や千葉大学生協様との会議を 経て、販売する製品を正式に決定します。

その後商品の発注をかけ、販売開始となります。2023年度は再生PETを100%使用した「エコブランケット」をオリジナルデザインで発注し、販売しました。「レジぶー基金」の活用によって、より多くの方がお求めやすい価格を実現しました。



#### COGOOお掃除企画

COGOOとは、構内専用シェアサイクルのことです。COGOOお掃除企画では、COGOO学生チームの方と連携し、週1回を目安に自転車の清掃を当番制で行います。清掃時、自転車のタイヤやサドルに不具合がないかを確認し、不具合があった場合にはCOGOO学生チームに共有し、修理していただきます。2023年度は、班内で1ヶ月に一度シフトを組み、10月から実施しましました。編集担当:出口小晴(国際教養学部2年)



.9

## ■松戸・柏の葉地区の班活動

### 地域内部交流班

イベントを通じて地域の方々との交流を深め、 子供達に自然環境の面白さや重要性を知ってもらい、 環境問題への関心を高めることを目的として 活動を行っています。

大学主催のイベントだけでなく市が主催する イベントにも出展しています。

編集担当:桃澤綺花(園芸学部3年)



#### 地域イベント班

地域イベント班の主な活動は、

緑風会館前にあるプランターの植え替えやその管理です。 景観向上や、老朽化が進み危険な恐れのあるベンチの利用を 制限することを目的とし、入学や戸定祭の時期に合わせて 植え替えをします。

先生や地元のお花屋さんにお世話になり、 土づくりや花選びなども行っています。 編集担当:望月茉梨(園芸学部3年)



#### 自転車・喫煙対策班

学生・教職員が快適なキャンパス生活を送ることが出来るよう、 日々清潔で快適な環境を維持するということを目的に

自転車と喫煙という観点から活動を行っています。

活動内容としては適切な管理を促すための自転車ステッカー発行と

未添付車への警告・撤去、喫煙所の利用状況調査などがあります。

編集担当:米田幹太朗(園芸学部3年)





### 省エネ・省資源班

省エネ・省資源班では、年に2回の

省エネ・省資源イベントや、エアコンフィルター清掃、 太陽光発電を用いたイルミネーション企画等を行い、 主に学内に向けた省エネルギー・省資源の啓発活動に 取り組んでいます。

その他、毎月の古紙回収等も継続して行っています。

編集担当:庄田千紘(園芸学部3年)



### 広報班

広報班では、主に校内掲示の環境啓発ポスター

(電気・水使用量削減のお願い、廃棄物量削減のお願いなど)の作成や SNS(X、Instagram)を用いた学生委員会の活動予告・活動報告の発信を 行っています。

機会に応じてイベントや記事の執筆も行います。

編集担当:小田雪乃(園芸学部3年)



## 構内緑化班

緑のカーテンの作成と管理、土の再生企画を行っています。 昨年度の活動で使用した土をプランターに入れ、新しく購入した苗を 植えます。後日ネットを張って、緑のカーテンを作っています。 使用した土は、11月にふるいにかけて根っこや大きな石を取り除き、 石灰窒素を混ぜて来年度も使えるように再生しています。









## TOPIC松戸・柏の葉地区のイベント出展

#### 松戸市こども祭りに参加

21世紀の森と広場にて開催された、

「第50回松戸市こども祭り」に参加しました。

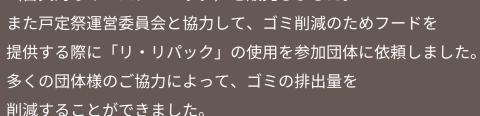
子どもたちが楽しみつつ、環境やゴミの分別に関心を 持ってもらえるような企画を目標として、魚釣りを模倣した ゴミの分別ゲームや枝葉を利用したフロッタージュ、松戸地区の

マスコットキャラクター「マツ」との写真撮影会を実施しました。



#### 戸定祭出展

園芸学部がある松戸キャンパスで開催している 大学祭「戸定祭」に学生委員会も出展しました。 2023年度は玉ねぎの皮をつかって染色した茹で卵の販売 (古典的なイースターエッグ)を販売しました。





### 2023年度松戸まつりに出展

松戸商工会議所主催の松戸まつりに出展し、 子どもたちに対して環境教育に関連する企画を 実施しました。

規格外野菜にインクをつけた「野菜スタンプ」を使って お絵描きや枝葉を使ったフロッタージュを実施しました。 112人という、想定以上の方がご参加くださいました。





#### 柏の葉イノベーションフェス2023に参加

柏の葉キャンパスの塚越先生を通して

「ソーシャルスタートアップ柏」様から共同出展をご提案いただきました。 松戸キャンパスで採集した葉っぱに絵の具などで着色し、 しおりづくりを実施しました。



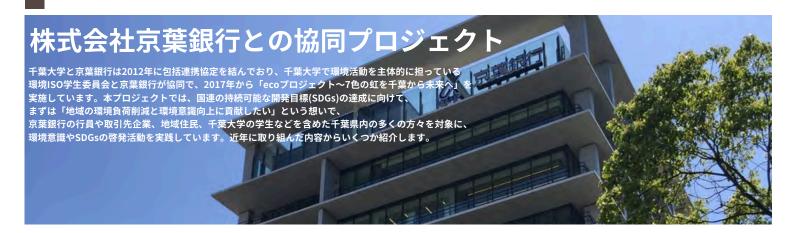
#### 2023年度防火・防災フェスティバル

キャンパス近くの千葉県西部防災センターで開催された 2023年度防火・防災フェスティバルに参加しました。 親子連れの来場者が多いことから、子ども向けの企画として 魚釣りを模倣したゴミの分別ゲーム、災害時に必要な防災グッズの絵が 描かれた的を考えてボールを当てる、ストラックアウトを実施しました。





## 企業連携プロジェクトの活動



### Let's study SDGs



子どもたちに、SDGsに関する知識を身に付け、環境対策の取り組みへの意識を持ってもらい たいと考え、2023年度は千葉市・船橋市・江戸川区の15校のアフタースクールに訪問し、 約550名の児童に対して、SDGsに関する講義とワークショップを実施しました。 講義では、海の環境や3Rを取り上げ、環境を守るために自分たちができることを考えました。 ワークショップでは、資源を有効活用する体験として、古着を使用したバッグ作成やペット ボトルキャップを使用したマグネット作成を行いました。

活動を通して、子どもたちの発想力や想像力に触れ、学生たちも新たな気づきを得るなど、 とても刺激を受けました。2024年度はさらに回数を増やして実施しています。 編集担当: 辻美雅(法政経学部2年)

## LGBTQ+ALLY



本企画では、京葉銀行の従業員及び学生向けにLGBTQ+に関する研修を行い、 理解増進を図りました。

研修では基礎知識や企業の取り組みなどについて学生が講演したほか、

当事者の体験談の紹介や、京葉銀行の業務に活かせる内容に合わせたグループワークを 取り入れ、お客様や従業員、家族が安心できるような実践的な内容を展開しました。 編集担当:松永茉莉(法政経学部3年)

#### どもエコまつり



こどもエコまつりは、3歳以上のこどもを対象としたSDGsに関する工作やゲームを行い、 それらを通してSDGsについて知ってもらい学ぶイベントです。

2024年度の一回目は、6月に千葉こどもの国キッズダムで行いました。

班のメンバーと何度も会議を重ねて、コンテンツの一新を決定し、今まで以上にこどもに 楽しんでもらえるような工夫をして開催をしました。

結果的に、900名以上の方に来場していただき、多くのこどもに対して、

SDGsや環境についての啓発を実施することができました。

二回目はそごう千葉店様で開催させていただきました。





千葉大や京葉銀行の関係者から集めた古着を、100円均一という格安で販売する イベントです。2023年度は、ZOZOの広場や学生が集まりやすい大学構内にて 開催しました。売上はSDGsに貢献している団体に寄付しました。 2024年度は、より多くの古着をリユースするために「0円マーケット」として開催したり、 売れない古着をバッグやコースターにリメイクするワークショップを 同時開催したりするなど工夫をしました。服の大量生産が、環境に与える影響は 大きいです。一人一人が環境への影響を意識しながら行動することが大切です。

編集担当:横谷和希(法政経学部2年)



ダイバーシティ LGBTQ+セミナー開催

千葉大学の学生・教職員とZOZO社員を対象に、「カミングアウトされたらどうする?」と題した オンラインセミナーを開催しました。

#### 環境

土に還る服

ファッションにおける環境問題や環境に配慮した服の存在を意識するきっかけになることを目的に、 「土に還る服」に着目し、企業を取材したり、広報したりする活動を行いました。



ファッションに関する人権問題への取り組み

服やコスメの生産段階の人権侵害に着目し、「人権に配慮して生産されている」ということが 消費者の購入基準となることを目的に、取り組んでいる企業を取材や、 映画『The True Cost ~ファストファッション真の代償~』の上映会を行うなどの 活動を実施しました。



編集担当:古賀貫太(法政経学部2年)、松永茉莉(法政経学部3年)、金井茉央(法政経学部3年)、横谷和希(法政経学部2年)



## そのほかの企業や自治体との連携活動

## みんなでSDGsちば食農体験プログラム



環境ISO学生委員会は、そごう千葉店と千葉テレビ放送株式会社と協同で、 千葉県の食文化について知ってもらおうという想いのもと、

小学生向けにワークショップを実施しました。

「子供たちが楽しく学べる」をコンセプトに、学生たちが野菜レース、 野菜バスケット、ルームフレグランス作りなど、オリジナルの教材を考案して 実施しました。

この取り組みが評価され、2023年に「第9回サステイナブルキャンパス賞」の 学生活動部門賞を受賞しました。

詳細:https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000779.000015177.html

### エプソン販売株式会社との協同プロジェクト



「共創」をテーマに学生と企業が協同し、お互いが共通して取り組んでいる環境問題を 多面的・多角的に捉え、より良い解決方法やアクションプランを共に創り上げることを 目的に、2022年度から2年間活動しました。

学生としてはエプソン販売株式会社の卓越した技術を用いた環境貢献を 学べる機会となり、企業側としては学生から柔軟かつ新しいアイデアを得られる機会と なりました。

## 株式会社パソナグループとの協同プロジェクト



2022年に開始した本プロジェクトでは、社員の方と学生が一緒に千葉市の稲毛の浜の ビーチクリーンを実施して、拾ったごみで制作したごみアート作品をイベントで 展示するなどの活動をしました。

Chiba Winter Fesには学生メンバーとともに考えて、SDGsへの意識を高めるブースを 出展しました。

#### 三菱王子製紙紙販売株式会社との協同プロジェクト



2015年から開始した本プロジェクトでは、2018年度から新入生に環境意識を 啓発するグッズを入学式でプレゼントする企画をスタートしました。 2023年度は、オリジナルデザインを入れた間伐材を使った木製ペーパークリップを つくり、2024年度の入学式で学部新入生に向けて配布しました。 ペーパークリップは、地表近くの若い樹木の生育を促すために樹木を適切に 間引きする「間伐」によって生じた「間伐材」から作られています。 それにより、このクリップの製造での環境への負荷を和らげることが 可能になりました。

## 次世代分科会



※千葉市地球温暖化対策地域協議会: 千葉市の特性に合わせた地球温暖化対策を推進するために、 2004年より市民・事業者・行政が一体となって様々な取り組みを行っている団体 環境ISO学生委員会は、2016年度から

千葉市地球温暖化対策地域協議会「次世代分科会」の一員として活動しています。 小中学生向けの環境教育教材の作成・活用や環境啓発品の制作を行い、 2023年度には環境啓発動画を制作しました。

出演キャラクターとして、一般社団法人ナレッジキャピタルのご協力を得て、 社会見学系 VTuber(バーチャル YouTuber)の黒湖たからを起用しました。 取材場所の選定、台本の作成、撮影、編集まで、すべて学生が関わりました。 完成した動画は、YouTube チャンネル

「千葉市地球温暖化対策地域協議会事務局」にアップされています。







## | 主催・参加したイベント

#### Chiba Winter Fes 2024 つくる みんなでつくるこの星、地球



「Chiba Winter Fes 2024」は、環境ISO学生委員会が環境・SDGs啓発を目的として 2017年度より開催しているイベントです。

2023年度は「世界一やさしいSDGs啓発イベント」を目指し、

千葉大学西千葉キャンパス内のけやき会館にて、2024年2月18日に開催しました。 当日は天候に恵まれ、昨年を大きく上回る約1,200名が来場し、大盛況となりました。



千葉大学環境ISO学生委員会は、2023年10月で20周年を迎えました。 本年度は、特別企画として、委員会の歴史や組織図をまとめたパネル展示のほか、 大ホールでは「卒業生と振り返る学生委員会の20年~あの日あの時あの場所で~」を 開催し、委員会活動を振り返るとともに、卒業生をパネリストに迎え、学生委員会の 強みと今後の期待についてディスカッションを行いました。

また、メインゲストとして、エコマジシャンのミヤモさんをお迎えして、 エコマジックショーを開催しました。

午前・午後1公演ずつ開催し、多世代にわかりやすく環境啓発を行うことが できました。

企業出展ブースでは、地域の企業・団体が環境や災害に関する展示や取り組み紹介を行いました。また、各企業の特色を活かしたワークショップも大盛況でした。株式会社オオクシによるプロの美容師によるヘアアレンジ教室や不用コスメを使った塗り絵、千葉トヨペット株式会社のC+Walk体験試乗会、給電車両の実演や展示、エプソン販売株式会社のプロジェクターを使った巨大モザイクアート、株式会社ZOZOのTシャツを使ったエコバックづくりなど充実したコンテンツとなりました。

飲食ブースには、株式会社京葉銀行の紹介のもと、千葉大学周辺の飲食店やキッチンカー、 「千産千消」をテーマにしたお店にご出店いただきました。

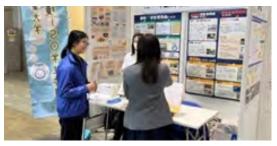
また、会場内では学生の運営メンバーが中心となって、SDGsに関するカードゲームや 科学の偉人クイズ、ウォークラリー、フリーマーケットなども実施し、来場者が楽しみながら SDGsについて学べるイベントとなりました。

イベント公式ホームページ https://env.chiba<u>-univ.net/cwf/</u>

編集担当:福嶋海咲(園芸学部3年)、早藤瞳子(園芸学部3年)、横田千夏(園芸学部3年)



#### 地域のイベントにブース出展



国内最大級の環境イベントである「エコプロ2023」や千葉県最大の環境活動見本市である「エコメッセ2023 inちば」、墨田区主催の「すみだ環境フェア2023」など、地域で行われる環境啓発を目的としたイベントや、

千葉県主催の「2023年度防火・防災フェスティバル」や、松戸市主催の 「松戸まつりイン2023」、「第51回松戸市こども祭り」など地域住民を対象とした イベントに環境ISO学生委員会がブースを出展しました。

パネルでの学生委員会の活動紹介や子ども向けのワークショップなどを行いました。

### 成田ゆめ牧場で子供向けワークショップを開催



成田ゆめ牧場で2023年8月26、27日にワークショップを開催しました。 参加した子供達に環境に関する知識・興味を持ってもらうことを目的に、 牛乳パックを使用したランタン作り、牛乳のリサイクルやアップサイクルに関する 環境紙芝居の朗読を行いました。

#### SDGsライフスタイル展に出展



2023年8月5、6日にそごう千葉店で開催された「SDGsライフスタイル展」でワークショップを開催しました。

ワークショップではSDGsの啓発を目的に、小学生から中学生を対象にしたカードゲーム(SDGs神経衰弱)と、SDGs啓発商品の紹介を行いました。紹介したSDGs啓発商品は、学生委員会で企画した折りたたみ水筒、米ストロー、紙製クリアファイルです。

米ストローは千葉大学西千葉キャンパスのライフセンターで販売していますので、ぜ ひお手に取って見てください。

#### 2023夏体験ボランティアでエコ教室を開催



墨田区ボランティアセンターで2023年8月5日に開催された 「2023年夏体験ボランティア」に参加しました。

このイベントは「ボランティア活動の体験を行うことで、さまざまな社会的問題への 関心を深め、社会に参加することの意義を学ぶこと」を目的として開催されており、 学生委員会は不要になったコスメを塗料に用いた風鈴作り、環境問題に関するパ ワーポイントを使ったエコ教室を行いました。







#### 2024年度理事長中島朋幸(法政経学部3年)

NPO法人格を取得して15年目を迎えました。近年は5つの事業が定着し、学生たちは普段の大学生活では なかなか経験できない活動をすることができています。私は理事長として、理事会の実施や 各事業の監督等、NPO全体に気を配る仕事を経験することができ、とてもやりがいがあります。 任期は1年で交代していきますが、理事長として得た経験を活かして、これからも励んでいきたいです。

#### 植樹・里山事業



植樹・里山事業の1つとして、公益財団法人環境生活文化機構が主催し、 佐川急便株式会社が共催する「高尾100年の森プロジェクト」に2016年度から 参加しています。

月に1度の頻度で東京都八王子市の高尾100年の森にて里山の整備・保全活動を 行っています。

整備のお手伝いをしながら、森に生息する動植物の観察も行っています。



また、川崎汽船株式会社と里山協定を結び、2012年から成田国際空港付近の "K"LINE の森を整備してきましたが、コロナ禍をきっかけに活動が中止となり、 代わりに 2021年度からは稲毛海岸の清掃活動を行い、

企業の方と共に海辺の環境保全活動を推進しています。

多くの人に里山や海岸の環境の重要性について知ってもらえるような機会を 作ることを目標に、2023年度は幕張海岸での清掃活動と、群馬県の森林への 植樹活動を行いました。



エコ教室事業では、千葉駅・ペリエ千葉主催のイベントで未就学児から 小学生を対象に「きっぷの芯」を利用したワークショップを行いました。 きっぷの芯とは、切符を印刷する用紙が巻き付いていたロール状の芯のことで、 用紙がなくなってしまえば本来は捨てられてしまうものです。 そこで当法人では、千葉駅から出た切符の芯を使って、子供が楽しみながら

アップサイクルやSDGsを学べる工作やミニゲームなどを考案しました。



2023年度は2回実施し、いずれもたくさんの方に来場していただきました。 また、ワークショップと一緒に魚つりゴミ分別ゲームも行いました。 海に浮かぶ缶やペットボトル等のごみを参加者が釣り竿で釣って、 千葉市のルールに従って分別するゲームです。 工作が難しい年代の子供でも楽しみながら、ごみの分別について 学んでいただけます。

#### 環境活動推進事業

環境ISO学生委員会として千葉大学のEMS(環境マネジメントシステム)を 主体的に運用してきたノウハウを活かし、 企業の発行する環境報告書に対する第三者意見の執筆を行っています。

近年は量子科学技術研究開発機構や他の国立大学が発行する「環境報告書」に対して毎年第三者意見の執筆を行っています。

#### コンサルティング事業

県内の中小企業に対し、環境省の策定したEMSのガイドライン「エコアクション21」の認証取得のための コンサルティングを行っています。

必要資料の作成や会社訪問による説明を行い企業のエコアクション21取得をサポートしています。 株式会社大幹様が2023年6月に認証を取得し、この取り組みが「大学イニシアティブプログラム」として認められ、

11月15日に、一般財団法人持続性推進機構のエコアクション中央事務局より感謝状をいただきました。

編集担当:中島朋幸(法政経学部3年)、大平詩織(法政経学部3年)

## 編集長 大石玲奈 (園芸学部3年) 古谷那奈 (教育学部3年)

環境ISO学生委員会に所属している学生の皆さん、またOB・OG、教職員の皆様や学生委員会に お力添えをくださっている皆様のご協力によって、このレポートが完成しました。 この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、環境ISO学生委員会は設立以来、活動の幅を広げており、学生委員の中にも自分が 関わっていない活動についてはよくわからない、という人もいるのではないでしょうか。 このレポートによって、学生委員会の全容について、少しでも多くの方に 知っていただければ幸いです。

## デザイン

千葉大学環境ISO学生委員会では、SDGsに基づいた 様々な活動を行っています。 そのため、SDGsが達成されつつあり、

人間と自然環境・人工的な環境が 共存している社会をモチーフにデザインしました。

表紙にいる子供が成長し、裏表紙では思いっきり ブランコで遊んでいる場面では、私たちの活動が 持続可能な社会の実現に貢献し次の世代にも 活動が広まっていってほしいという願いを込めました。

## 編集担当者

#### 編集長

大石玲奈 (園芸学部3年)、古谷那奈 (教育学部3年)

#### 環境ISO学生委員会 サステナビリティレポート2024編集部

小野萌菜、佐々木七菜、蛭田愛海、細川結愛、細山田直誠、前橋美佑、山口怜優、横谷和希

#### デザイナー

蛭田愛海(法政経学部2年)

#### 編集・校正サポート

岡山咲子 国際未来教育基幹 助教

# 執筆等協力者 (敬称略:五十音順)

#### 環境ISO学生委員会

粟屋日菜、池田真唯子、大平詩織、小田雪乃、 金井茉央、古賀貫太、越山直輝、小竹涼介、 小藤那奈子、佐々木七菜、庄田千紘、高島彩希、 武田彩花、武田和、辻美雅、出口小晴、冨永海翔、 中島朋幸、橋上咲季、林大輔、早藤瞳子、 日丸慎吾、深田尚杜、福嶋海咲、細川結愛、 松永茉莉、宮前良亮、村杉奏音、望月茉梨、 桃澤綺花、横田千夏、横谷和希、米田幹太朗

#### 一般学生•院生

北澤結衣、根本大雅、平松美空、山本怜奈









